

'10.9

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行所 兵庫県商工会連合会  
発行人 会長 木南岩男  
神戸市中央区花隈町6の19  
☎078(371)1261(代)〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 安平一志  
印刷所 大和出版印刷株式会社  
会員の購読料は会費に含んでおります

第 637 号

# 兵庫県 商工連会報

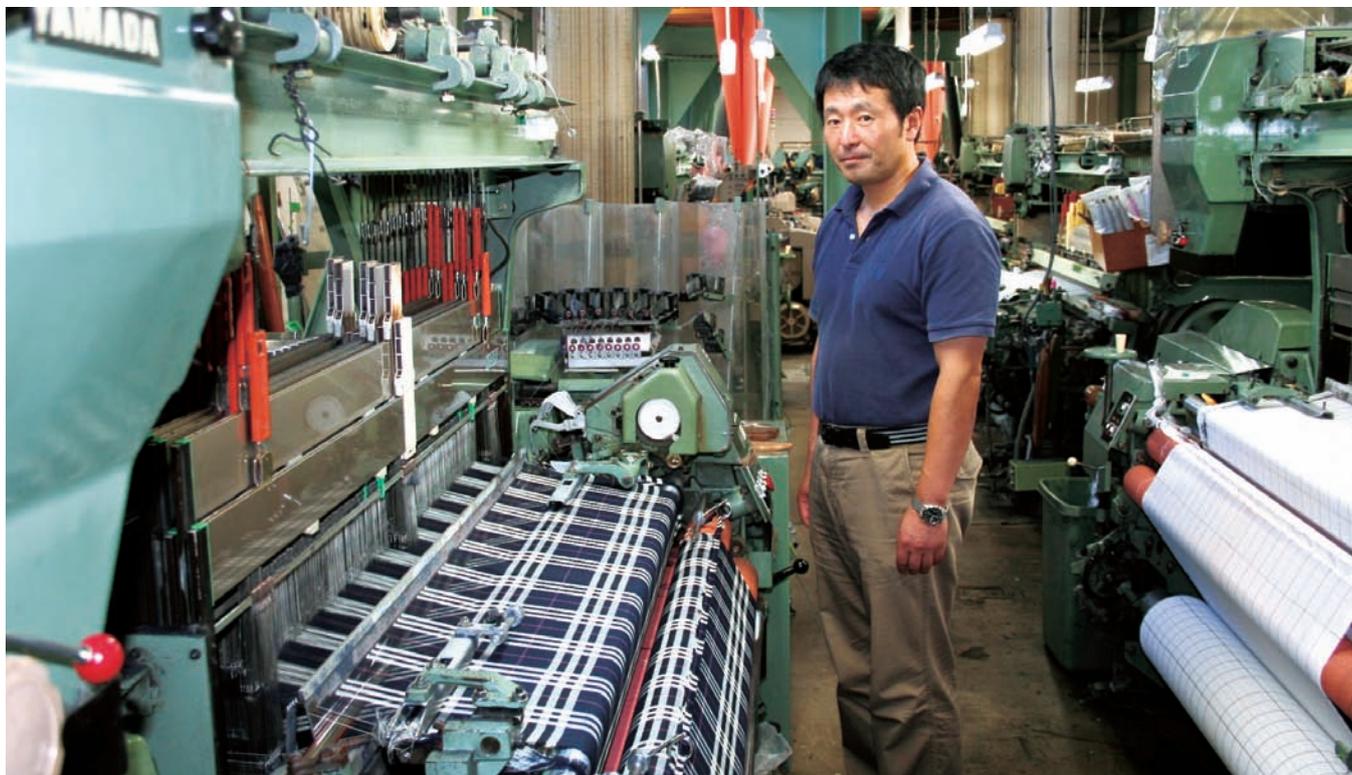
(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

～商工会法施行50周年～

平成22年度スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲阿江ハンカチーフ(株)の工場内と、阿江克彦社長

### Contents

- 県連合会Letter 2～3頁
  - ・ 経営支援研修会 (基礎)
  - ・ 新任商工会会長研修会
  - ・ 商工会管理者研修会
  - ・ 青年部幹部講習会・主張発表大会
  - ・ 女性部正副会長、常任理事会及びポータルサイト委員会
- あなたのまちの元気な企業 (加東市) 4頁
- 商工会Letter 5～6頁
  - ・ 法人部会を発足 (上郡町商工会)
  - ・ 花火大会復活へ募金活動 (丹波市商工会青年部)
  - ・ 三田の飲食店元気アップセミナー (三田市商工会)
  - ・ 「円心モロどん」でまちおこし (上郡町商工会)
  - ・ 三年連続めでたくゴールイン (吉川町商工会青年部)
  - ・ 特産品でギネス達成 (淡路市商工会青年部)
  - ・ 特産マーケットオープン (川西市商工会)

明治初年に創業し、百五十年の歴史を持つ阿江ハンカチーフ(株) (代表取締役社長・阿江克彦氏) は、西脇・加東地区の地場産業である「播州織」の生地を生産している。播州織をつかった同社のハンカチは、その高級感から顧客に高い評価を得ており、現在は世界のトップブランドのハンカチをOEM生産している。

二〇〇八年には自社ブランド「Lumieble (ルミエーブル)」を立ち上げ、日傘のインターネット直販で売り上げを伸ばしている。

「織物を通して社会に認められる会社となり、全従業員の物心両面の幸福を追求する。」

～阿江ハンカチーフ(株)～

加東市

## 商工会管理者研修会を開催

県連合会は、七月二十二（二十三日、篠山市「王地山公園ささやま荘」において、商工会管理者研修会及び第一回事務局連絡会議を開催した。参加者は二十九名。

まず、研修①では、県連合会・安平専務理事が、「商工会を取り巻く環境について」と題し、新任会長研修会の内容、地域商工会振興協議会の今後のあり方、マル経融資制度の見直しなどについて講演した。

続いて、神戸商工会議所より「ジョブカード事業について」お知らせがあり、引き続き事務局連絡会議を開催した。質疑応答では、「五十周年記念事業について」、「昇格試験について」、「ネットde記帳について」、「基幹システムについて」、「商工会館の処分について」等、活発な意見交換が行われた。



▲意見交換が活発に行なわれた

研修②では、株式会社PCM総合研究所の代表取締役・河井健一氏より、「司法社会から垣間見た経営者の危機管理のあり方」についての講演が行われた。

警察官のOBである河井氏は、「自身の長年の経験から」企業における危機管理」、「経営を阻害する反社会的勢力の不当要求対処法」、「クレーム処理の方法」について、具体的な事例をまじえて話した。

### 新任商工会会長 研修会を開催

県連合会は、七月八日（九日、姫路市夢前町「夢乃井」において、新任商工会会長研修会を開催した。参加者は平成二十二年度会長に就任した五名。

まず研修①では、県連合会・安平専務理事より「商工会会長の役割について」と題し、商工会長の使命、会長と事務局長との信頼関係の大切さについて講演があった。

続いて、研修②では県連合会・木南会長より、「連合会の現状と商工会の役割」と題し、会長の責任の重要度、事務局長への的確な指示伝達、また、商工会職員の県連帰属化や全会長を県連役員に登用した経緯につ

### よりよい職場環境づくり の手法を学ぶ （経営支援研修会（基礎））

県連合会は、七月六日、神戸市・パレス神戸で経営支援研修会（基礎）を開催した。

本研修会は、県下の商工会職員を対象に、職場でのメンタルケア、経営法務、労務についての基礎知識の習得を目的とした。

まず、公正取引委員会事務局総局近畿中国四国事務所より、独占禁止法ネットワークについて説明があり、独占禁止法や下請法について学んだ。

次に、県連合会チーフアドバイザー・高橋貞夫氏より「メンタルケアと職場の活性化」として、職場の仲間との人間関係の構築について説明があった。また、同氏は、職場の仲間が互いに関心を持ち合うこと、真の相談相手をして説明があった。

研修③では県連合会チーフアドバイザー・上山修一氏より、「これからの商工会組織への期待」と題して講演が行われた。民間企業出身である上山氏は、これまでの商工会とのかかわりから「幹部職員の育成が急務である」と説き、「会長のリーダー



▲熱心に聞き入る参加者たち

持つことの重要性にも触れた。

午後からは、県連合会チーフアドバイザーで社会保険労務士の前田欣也氏より、就業規則や三六協定等の作成例、法律についてのよくある質問と解決方法の説明があった。多くの事例を取りあげ、会員事業所への指導に役立ててほしいとのコメントがあった。

参加者は、この研修会を通して、よりよい職場環境づくりには、規則や法律等に基づくハード面と、社会や人間同士の関わり合いであるソフト面の両方が必要であるということを学ぶことができた。

シッパに期待する」と参加者を鼓舞した。

その後、参加者全員と意見交換を行い、各自、商工会が抱える課題や疑問点について話し合うことで、会長としての悩みを共有することができ、有意義な研修会となった。

### 土地や家屋を取得した場合は 不動産取得税がかかります！

売買・贈与・交換・建築などによって不動産（土地・家屋）を取得（登記の有無は問いません）されると、不動産取得税が課税課税されます。

詳しくは、最寄りの県税事務所にお問い合わせください。

<兵庫県・県税事務所>



最高の信頼を  
めざして。

三井住友銀行

地域への思いを生き活きと発表  
 ～青年部幹部講習会・  
 主張発表大会～

県商工会青年部連合会（霞末浩二会長）は、去る七月五日、夢ホール（新温泉町）において、第一回幹部講習会、第十六回主張発表大会を開催、県下各地域の青年部幹部等百六十名余が参加した。来賓として、地元但馬県民局・北村県民室長、新温泉町・岡本町長、温泉町商工会・北村会長等を迎えた。

主張発表大会では、県下各ブロック代表の七名が、それぞれ「青年部活動や地域振興・まちづくり」をテーマに活動事例を発表した。

最優秀賞には、但馬ブロック代表（豊岡市商工会青年部）の北村元気氏が受賞。九月二日に



▲最優秀を受賞の北村元気氏（但馬地区）



▲新温泉町山陰海岸ジオパーク館館長谷本氏

京都府で開催される近畿ブロック大会の兵庫県代表として出場する。

また、幹部講習会では、実際に経営革新計画を承認された青年部員四名により事例発表が行われた。

二日目は、地元但馬地区の兵庫県村岡雪合戦連盟会長 井上正則氏より公式雪合戦ルールについての説明を受けた後、新温泉町山陰海岸ジオパーク館館長の谷本勇氏より、地域のジオツーリズムを通じた自然遺産の保全と地域活性化につながる活動について、講演をいただいた。

参加者は、公式スポーツである「雪合戦」のルールや、ジオパークの施設について、また、地域ジオツーリズムを通じた自然遺産の保全と地域活性化につながる活動について理解できた。

「ふるさと小包グランプリ」への応募などを審議  
 ～女性部正副会長、常任理事会及びポータルサイト委員会～

県女性部連合会（行幸子会長）は、七月二日、県商工会館で「第三回正副会長、常任理事会及びポータルサイト委員会」を開催した。

正副会長、常任理事会への提出議案は次のとおり。

- ①「ふるさと小包グランプリ」の応募について
- ②部長会開催について

審議の結果、いずれも原案のとおり承認された。

「ふるさと小包」は、佐用町、丹波市、三田市から兵庫県分の応募として、全女性連に報告することとなった。

部長会は八月二十七日（金）兵庫県商工会館にて開催する事とし、意見交換の座長は女性部員以外に依頼すべきとの意見があった為、県連で座長を選任することとした。

- ポータルサイト委員会での協議事項は次のとおり。
- ①今後の運営体制について
  - ②各部への周知方法検討について
  - ③TOP掲載用の写真提供依頼について

- ④特集掲載用の写真提供依頼について

審議の結果、いずれも原案のとおり承認された。

今後は、実行委員会から執行部へ引き継ぐこととした。

周知方法は、各部役員に情報登録を依頼することとした。

写真提供は、行政順に、二ヶ月ごとに地域の観光名所・特産品等の写真の提供を依頼。

特集については、部員宛てにPRし、協力呼びかけを行うこととした。

主な行事予定

6月のこよみ	
21日(水)	22日(木) 経営支援アドバイザーセミナー 養成研修会
30日(水)	販路開拓研究会 小規模事業者経営改善資金融資制度講習会
3日(日)	県青連ソフトボール大会(姫路市)
16日(水)	商工会等職員昇格試験
21日(金)	22日(土) 近青連交流スポーツ大会(神戸市)
27日(木)	28日(金) 第2回コーディネーター養成研修会

わたしたちジブラルタ生命が、サポートいたします。

商工貯蓄共済制度

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度の生命保険部分はジブラルタ生命が引き受けています。



— 中小企業と共に50年 —

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県 共 済

兵庫県火災共済協同組合  
 兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号（県立産業会館内）

☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

# あなたのまちの元気な企業<sup>(20)</sup> 阿江ハンカチーフ(株)

加東市

## 事業の概要・変遷について

明治初年に創業し、百五十年の歴史を持つ阿江ハンカチーフ(株)（代表取締役社長・阿江克彦氏）は、西脇・加東地区の地場産業である「播州織」の生地を生産している。

昭和二十一年の元旦に火事に遭ってすべてが焼け、戦後の織物産業の全盛期の時代に乗り遅れた。

しかし、先代社長の阿江克典氏（現社長の父）が、昭和四十五・四十六年頃より、ハンカチ生産に切り替え、現在では、世界のトップブランドの高級ハンカチをOEM生産し、全国の先染めハンカチの約四分の一以上



▲自社ブランド「Lumiebre」の日傘

のシェアを占めている。

また、二〇〇八年には自社ブランド「Lumiebre（ルミエール）」を立ち上げ、インターネットにより、日傘などの直販で売上を伸ばしている。

## 商品について

ハンカチは単純に布を四角く裁断・縫製していると思われがちであるが、同社のハンカチには「播州織」の特徴である先染めによる高級感と、高度な織物技術で作られた特有の光沢、軽くてしなやかな風合い・品質・織り柄など、難易度の高い高付加価値な商品として顧客から評価を得て、多数の高級ブランドハンカチの受注生産を行っている。

また、自社ブランド商品として、日傘の生産やデジタルカメラのデータを織物で表現するフルカラー写真織等を生産している。

## 自社ブランドについて

現在のハンカチ市場はタオルハンカチなども増え、同社で取り扱っている高級ハンカチ分野



▲火事に遭っても焼け残った金庫

は先細り傾向で、さらなる市場の拡大には限界があった。そんな中、中小企業基盤整備機構の助成を活用し、日傘・パジャマ・トランクス等、ハンカチ以外の商品開発にチャレンジし、ギフトショーに出展。その時に評価の高かった先染めの日傘に着目した。

日傘といっても、他社と同じ物を生産しては市場で負けてしまうと、徹底的に市場調査を行い、若い女性に熱心な愛好者が多い、「ゴスロリ&ロリータ（ゴスロリ）」と呼ばれるファッションスタイルをターゲットとした。

この「ゴスロリ」は、傘を必須アイテムとし、愛好者はファッションに費やす費用も多く、現在は世界に広がりを見せつつある分野である。市場調査の

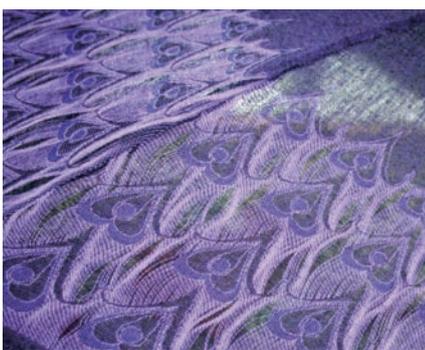
結果、「ゴスロリ」向けの良い傘があまり出回っていないことから、そこで有名になればトップブランドになれると確信し、商品を開発。専門誌やその業界でのPRに力を入れた結果、現在では海外からの注文も入るようになった。

今後は「ゴスロリ」分野だけではなく、「ヨーロッパエLEGANTス基調」の製品も増やし、世界トップブランドを目指している。

その他、地域資源活用事業に認定されたクラッシュ加工を施した生地を活かした日傘の開発や、デジタルカメラのデータを布に織り上げるフルカラー写真織りなどの商品開発にも力をいれている。

## 播州織について

播州織は、糸染めや糊付け、



▲「クラッシュ加工」を施した日傘生地

産地が厳しい状況にある中で、この産業を次代に繋ぐために努力していきたい。

## 商工会期待ポイント

地域が疲弊する中で、地域のためにどのようなことができるのか、商工会がどうあるべきか、何のために存在するのかということを職員一人ひとりが真剣に考え、中小企業の応援をし、地域の元気を取り戻してほしい。

企業概要	
①企業名	阿江ハンカチーフ(株)
②代表者	阿江 克彦
③住所	加東市下滝野593-1
④TEL	0795-48-2031
FAX	0795-48-4602
⑤URL	http://www.aehandkerchief.jp/
⑥資本金	1,000万円
⑦創業年	明治初年
⑧従業員	14名
⑨商工会員歴	30年



## 企業の元気アップめざし、 法人部会を発足 〈上郡町商工会〉

上郡町商工会(小河清之会長)では去る六月二十三日、「上郡町商工会法人部会」の設立総会を開催した。

同部会は、衰退する地域経済の中で、自主的な取組みによって企業の元気アップを図ろうというもの。対象は、町内法人企業のうち雇用を支える中核企業やものづくり企業など。従って規模、業種ともさまざまで、異業種交流会的性格も有している。設立時の加入は十七企業ながら、魅力ある事業の展開によって今後、加入推進に努める。初代部長には光菱電機(株)



▲初代法人部会長の山本社長

山本一英社長が就任し、会則等三つの議案を承認した。

さらに七月二十九日には、第一回例会として出席者参加型のセミナーを開催、組織に不可欠なコミュニケーションのとり方などについて、シエラコンサルティンク(株)・土居宗一代表が講師を務め、経営テクノロジ代表・桑田和彦氏がサポート。当日の参加者は三十七名で、加入企業の他、町役場からも幹部多数が出席した。

なお、同部会では、事例発表なども含め、今後月一回のペースで事業を展開する予定。

## 三田の飲食店元気アップセミナー 〈三田市商工会〉

三田市商工会(松原正武会長)では、経営改善普及事業セミナーとして七月十四日(水)「三田の飲食店 元気アップセミナー」を開催した。

当セミナーは市場動向を把握し、飲食店専門コンサルタントと三田・篠山で頑張る飲食店との意見交換を通じて、気づきを得ることを目的に開催されたもので、当日は三田市・篠山市から二十四名の参加者があった。第一部の基調講演では、講師

## 花火大会復活へ募金活動 〈丹波市商工会青年部〉

丹波市商工会青年部(朝倉栄蔵部長)では、合併して四年目を迎える今年の夏、お年寄りから次代を担う子ども達まで地域のみんなに楽しんでもらおうと、花火大会を復活させる募金活動の協力を呼びかけた。

「丹波を元気にして行こう」というスローガンのもと、基本テーマを『想いを形にし、信念と勇気を持って』として、どうすれば丹波を元気にできるのか検討を重ねた結果、花火大会

の復活をめざす。地元企業、また市民と一緒に祭りを楽しんで上げていく。部員たちは、各地で事業やイベントが縮小される中で、地域の人びと・観光客にも丹波市のエネルギーに満ちあふれた姿を見せる大変良い機会になると確信し、活動を行った。

今後この事業は年々内容を充実させ、『丹波の夏!夜の風物詩』として、お年寄りの方には楽しんでもらい、次代を担う子どもたちに受け継がれ、長く、人の心に残り語り継がれる事業にしていきたいという。

場動向を中心とした講演があった。

第二部のパネルディスカッションでは、コーディネーターに(有)アクトコンサルタント 大森啓司氏、パネラーには(有)獅子銀 溝畑敏樹氏を迎え、「これからの地域に根ざす飲食店作りをめざして」をテーマに活発な意見交換が行われた。

市場動向が重要な源泉となる飲食店への情報提供の場として、今回のセミナーを位置づけ、今後は継続的な開催をしていきたいとしている。



▲これからの地域に根ざす飲食店づくりについて活発な意見交換が行われた

に(有)オフィス風来坊 宮本隆氏より、「飲食業を取り巻く市場環境と今後の動向」と題し、市

## 青色防犯パトロール ～朝来市商工会青年部～

朝来市商工会青年部(平山貴彦部長)では、昨年まで旧生野町で取り組んでいた防犯パトロール事業を、合併を期に朝来市内全域へと範囲を拡大して取り組んだ。朝来市内全域へと範囲を拡大することにより、新たに警察へ青色回転灯設置について申請し、警察署長より委嘱証明の交付を受けた。青色回転灯は目で確認しやすく、犯罪の抑止効果が高い為、住民に安心感を与えることができる利点がある。青年部員の中には子を持つ親もおり、子供たちに明るく安心して住める豊かな地域を残したいとの想いから、青色防犯パトロールを七月二十六日～八月七日の期間、警察の協力の下実施した。

自分たちの活動が他地域・他団体に普及効果があればと願っている。



▲防犯パトロールカー「青パト」

### 「円心モロどん」で まちおこしを

上郡町の宿泊施設「ピュアランド山の里」が、同町の特産品「円心モロどん」のレシピコンテストを行ったところ、商工会職員の建部千鶴さんが見事グランプリを受賞。「ぶっかけモロどん」として、同施設の夏季限定メニューにも加わった。

躍した戦国武将赤松円心からとったもの。ちなみに、赤松円心を主人公にした小説に「悪党の裔」（北方謙三著）があり、その生きざまが活き活きと描かれている。

このモロどんは、ツルツルとした個性的な食感が魅力で、平成七年度に商工会がむらおこし事業で考案。これまで観光案内所を中心に町内外へのイベント出店や販売、PR等に努めてきた。



▲青菜の中ですばぬけた栄養価を誇る「円心モロどん」

また、当初からその製造を手掛けてきた平田製麺所（平田善彦社長）で最近、冷凍麺も始めたことから、業務用と

### 三年連続めでたくゴールイン 吉川町商工会青年部

吉川町商工会青年部（藤本雅史部長）は、六月二十日、三木市内にある西山牧場において、「ひょうご出会いサポーター」「ひょうご出合いサポーター」「こうのつりの会」「みきで愛サポーターセンター」の協力を得、今年で七回目となる独自男女交流会を盛大に開催した。

当日は、三木市内外から男女四十二名の参加があり、グループに分かれてバーベキューやバナー作り体験を行うなど、吉川町の豊かな自然を満喫し、交流

を深めた。

今回カップルの成立は二組と少し寂しい結果となったものの、昨年までのカップル成立者が三年連続めでたくゴールインしており、事業成果は確実に上がっている。

### 二年連続ギネス記録達成！ 淡路市商工会青年部

淡路市商工会青年部（兩松良光部長）は、「淡路市夏まつりイベント」で、地元特産品を使った二年連続ギネス記録が達成された。今年は夏祭りに訪れた約

二百五十人と七時間をかけ、約四万本の黄土、茶、緑など五色の線香を六センチ四方のピースに約三十本ずつ貼り付け、そのピースを土台（縦二メートル、横二・四メートル）に千三百二十枚敷き詰めてモザイク画を完成させたもの。

ギネス記録の条件は「四平方メートル以上のサイズで、棒状が密着した状態に並んでいること」で、ギネス・ワールドレコーズ社の認定員が、絵の大きさや完成度を基準に判定して見事ギネス認定となった。

モザイク画は、頭に明石海峡

### 特産マーケット 来個かわにし オープン

川西市商工会では、全国にある「川西」の特産品の販売、情報を発信する「特産マーケット来個かわにし」を八月一日に阪急川西能勢口駅の商業施設「ベルフローラかわにしイースト」にオープンした。

この事業は、川西市の商業振興・活性化施策の一環として川西市商工会が「全国川西商工サミット」で培ったネットワークを生かし、川西市の特産品「きんたくん」グッズをはじめ、山

大橋を乗せ、髪形は国生み神話に登場する伊弉諾尊（いざなぎのみこと）をイメージした淡路市の新しいシンボルキャラクター「ター」をモデルに描き出したものであり、同商工会青年部では「全国シェア七割の特産品である線香をPRできた」としている。



▲淡路市のシンボルキャラクターで2年連続ギネス記録達成



▲特産マーケット来個かわにし オープン

あなたの調査票から日本の未来が見えてきます

10月1日、国勢調査を実施します！

2010 国勢調査

平成22年10月1日

総務省統計局